学ぼう！野菜のこと　農業のこと

給食協会では食育の一環として、北九州市の農業や学校給食に対する理解を深めてもらうため、収穫体験を行っています。

今回は１月１８日（金）八幡東区ひびきが丘小学校５年生が、若松区有毛の松浦さんの畑で“だいこん”の収穫体験を行いました。

収穫方法の説明をする松浦さん

葉っぱを束ねて力いっぱい抜いていきます。
大きな大根はなかなか抜けません。

今年は暖冬で、太陽の日射しをしっかり浴びた大根は、例年にない大きさに育っており、１本３～４キロあるビッグサイズの大根に驚きの歓声が上がっていました。

学校に戻ってからの交流会では、「小さい種をまいて２、３ヶ月でここまでの大きさに育ち、自然の力はすごい！安定した大きさのものを作りたいが、なかなか難しい、しかし農業の楽しさでもある」と松浦さんは話していました。

今日の給食のさつま汁の中に松浦さんの作った大根が入っていました。子どもたちは美味しい大根の入ったさつま汁をもりもり食べながら、参加者の皆さんと一緒に楽しい時間を過ごしました。

ランチルームで給食交流会